

まちの話 だい

12月6日 | 共助の意識を高め合う

「地域防災の日」に合わせ、多くの市民が参加し、市内各地で地域防災訓練が行われました。

川根中学校会場では、県警ヘリや自衛隊車両とも連携し、災害時に孤立が想定される山間部からの負傷者搬送訓練を実施。保健福祉センターでは、搬送された負傷者の応急処置や治療の優先度を定めるトリアージ訓練に取り組み、災害時の行動を確認しました。



12月21日 | 地域で伝える和の文化

伊久美小学校の全校生徒24人が、恒例の「しめ縄づくり」に挑戦しました。

新年を迎える日本の伝統を子どもたちに伝えながら、地域の絆を深めようと、地元のお年寄りなどの協力により毎年実施しています。子どもたちは、講師の指導を受けながら、真剣な表情でワラを編み、キンカンなどを飾って、立派な正月飾りを完成させました。

1月1日 | 一年の健康を願い初走り

「みんなで走ろう! 元日マラソン」が、大井川マラソンコース「リパティ」で開催されました。

39回目となる今年の大会は、年々参加者が増え2,440人が集合。ランナーの皆さんは、2・5・10kmの各部門に分かれ、新春の青空のもとゴールを目指し、爽やかな汗を流しました。ゴールでは温かい豚汁が振る舞われ、参加者は新年を笑顔でスタートさせていました。





12月5日 | 迫力満点な巨大干支

大代地区のまちおこしグループ「王子田会」の皆さんによる、恒例の「ジャンボ干支」が完成。多くの家族連れが記念撮影に訪れています。

今回は高さ約3mの2匹の「^{まる}申」が登場。竹や間伐材の骨組みに軽トラック2台分の稲ワラで肉付けされています。13人のメンバーが、11月下旬から約10日間かけて製作。夜はライトアップされ、2月末まで展示される予定です。

12月20日 | 地域の元気を書で応援

おび通りで開催された「しまだ元気市」で、金谷高校書道部の皆さんが、力強い書道パフォーマンスを披露しました。

この日のために練習を重ねてきた部員16人は、地域活性化への願いを込めて、特大版の「クリスマスカード」と「年賀状」を制作。軽快な音楽に合わせて、息の合った演技を見せ、会場を大きく湧かせました。



1月4日 | 防火への決意を新たに

消防職員や団員約600人が参加し「島田市消防団出初式」が行われました。

陸上競技場では、団員たちが一同に会し、観閲式を開催。続くプラザおおりのでの表彰式の後、恒例のパレードを実施しました。市役所からJR島田駅までを、消防車両約20台と共に行進する団員の一条乱れぬ動きは、沿道に集まる市民を魅了しました。